

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A:十分達成できている
B:おおむね達成できている
C:やや不十分である
D:不十分である

学校名: 武雄市立川登中学校
1 前年度 評価結果の概要
2 学校教育目標: 自立の精神に満ちた豊かな人間力の育成
3 本年度の重点目標: (1)豊かな人間性と社会性の育成 (2)確かな学びの充実 (3)たくましく生きるための健康の推進 (4)地域との共生と郷土愛の醸成

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目
重点取組: 学力の向上, 心の教育, 健康・体づくり, 業務改善・教職員の働き方改革の推進, 特別支援教育の充実
評価項目: 全職員による共通理解と共通実践, 思考力・判断力・表現力の深まりを目指す授業の実践, 家庭と連携した学習環境づくり, 生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動, いじめの早期発見、早期対応体制の充実, ◎生徒が夢や目標をもち、実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動の推進, ◎望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成, ◎健康を考えて行動できる能力の育成, ◎部活動の推進, ◎業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減, ◎教職員の連携促進, ◎特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目
重点取組: ICT機器を活用した学び意欲を高める指導の工夫, ◎地域と学校の協働による学校づくり
評価項目: ICT機器を活用した学び意欲を高める指導の工夫, ◎地域と学校の協働による学校づくり

5 総合評価・次年度への展望
◎…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育
○評価項目の14項目中11項目について、十分達成することができた。「おおむね達成」の状況である3項目については、以下のようにして改善を図っていく。
・「平日の家庭学習時間が1時間以上になる生徒の割合を80%にする。」については、現在の受動的な意識から能動的な意識へと成長させる必要がある。そのために、授業と連動した課題やより効果的な自主学習ノートの在り方など、生徒各自が家庭学習の質を高める方策を講じていく。